

高槻北高等学校部活動に係る活動方針

令和 6 年 4 月 1 日

1. 部活動の目的

本校は「知・徳・体」のバランスの取れた人物・将来において社会で自立できる人物、社会に貢献できる人物を育てることをめざす学校像に掲げ、すべての教育活動を行っている。したがって、部活動は単に、知識・技術・競技力を向上させるだけでなく、多様な活動・経験を通して、人間的な成長をめざすことを目的としている。

2. 運営について

- (1) 年間の活動計画並びに毎月の活動計画を作成し、計画的な活動を行うとともに、保護者にも提示し理解と協力を求める。
- (2) 部活動指導者は顧問を含む複数で担当し、過度の負担が生じないようにする。

3. 休養日及び活動時間の設定について

- (1) 休養日は週 1 日以上設定する。
- (2) 週当たり平日は少なくとも 1 日、土曜日及び日曜日の少なくとも 1 日を休養日とすることを基本とするが、練習試合や大会等で困難な場合にあっては、学校全体で部活動を行わない日（定期考査期間等）を含め、部ごとに年間で 104 日以上設定する。
- (3) 週末の休養日は原則として月当たり 2 日以上となるように設定する。
- (4) 1 日の活動時間は、平日では 2 時間程度、学校の休業日は 4 時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的な活動を行う。
- (5) 学校の休業日に練習試合や大会等で 4 時間以上の活動となる場合は、生徒の健康管理に十分配慮して、休憩時間を適切に設定し、無理のないよう活動するとともに、その後に休養日を設けるなど、学校生活に支障のないように配慮する。

4. 指導について

- (1) 部活動の指導に当たって、体罰は、いかなる理由があっても、決して許されるものではない。また、威圧的な言動等による指導によって、生徒の自発性を損なうことの無いよう考慮して指導に当たること。
- (2) 適切な指導方法、コミュニケーションの充実等により、生徒の意欲や自主的、自発的な活動を促す。

5. その他

- (1) 事故の未然防止のため、施設・設備の点検を定期的実施する。
- (2) 無理のない安全な活動メニューを心掛け、自主的に行うことを基本とする。
- (3) 大会参加や練習試合等については、日程等を十分考慮し、過度な負担とならないようにする。